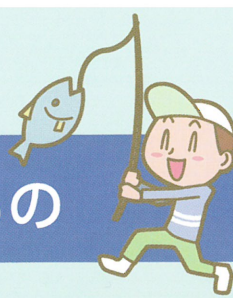


福岡の水辺で見られる生きもの



水辺には
特徴ある
生きものが
たくさん



鳥類

川や池などの水辺で一年を通してみられます。あざやかなコバルトブルーの体と長くちばしが特徴です。水の中に飛び込んで、魚などをつかまえて食べます。

カワセミ

大きさ:約17cm カワセミ科



両生類

小川や池などでみられます。長生きで、20年ほど生きます。ひふにはフグと同じ毒をもっていて、お腹の赤い色は他の動物への警告色となっています。

アカハライモリ

大きさ:約10cm イモリ科



魚類

写真提供:福岡県保健環境研究所 環境生物課

世界でも博多湾に流れ込む川のみで見られるドジョウです。街中の川に住んでいるため、生息環境が悪化し絶滅寸前となっています。

ハカタスジシマドジョウ

大きさ:約8cm ドジョウ科



昆虫

幼虫は水辺に生えるヤナギを食べますが、大濠公園や舞鶴公園に植えられたシダレヤナギでも時々みられます。成虫は花ではなく、樹液に集まります。

コムラサキ

大きさ:約3.5cm タテハチョウ科



昆虫

「生きている化石」と呼ばれ、日本にしかいません。成虫になるまでに6~7年かかります。きれいな川にだけみられ、このトンボがいる川は長い間水がきれいである証になります。

ムカシトンボ

大きさ:約4cm ムカシトンボ科



植物

福岡城のお堀で初めて発見された植物です。日本での分布はほぼ福岡市に限られ、福岡城堀内のは福岡県の天然記念物に指定されています。

ツクシオオガヤツリ

大きさ:1.5m以上 カヤツリグサ科



植物

ため池の周辺や湿地に生える珍しい植物です。10月ごろに白色の花を咲かせます。ため池の改修工事などにより数が少なくなっています。

イヌセンブリ

大きさ:約40cm リンドウ科



川



海



鳥類

冬に博多湾の干潟などでみられます。世界的に数が減ってきている貴重な鳥です。博多湾には毎年やってきます。しゃもじのようなくちばしが特徴です。

クロツラヘラサギ

大きさ:約80cm トキ科



鳥類

和白干潟のシンボルとして親しまれています。日本では珍しい鳥ですが、博多湾には毎年冬にやってきます。赤い足とくちばしが特徴で、二枚貝を上手に開いて食べます。

ミヤコドリ

大きさ:約45cm ミヤコドリ科



節足動物

「生きている化石」と呼ばれ、九州北部と瀬戸内海にすんでいます。オスは左右どちらかに白く大きなハサミを持っていて、このハサミを振って求愛ダンスを踊ります。

カブトガニ

大きさ:約70~80cm カブトガニ科



節足動物

和白干潟や今津干潟などの砂地の干潟にすむ小さなカニです。オスは左右どちらかに白く大きなハサミを持っていて、このハサミを振って求愛ダンスを踊ります。

ハクセンシオマネキ

大きさ:約2cm スナガニ科



福岡の里地里山で見られる生きもの



近くにも
こんなに
生きものが
いるんだね



鳥類

夏鳥として福岡市各地の山や森のある公園などへやってきます。オスは高い木などの目立つ所でさえずります。さえずりが美しいため「日本三鳴鳥」に選ばれています。

オオルリ

大きさ:約17cm ヒタキ科



鳥類

夏鳥として福岡市各地の山や森のある公園などへやってきます。オオルリよりも明るい林を好み、枝にとまってさえずります。

キビタキ

大きさ:約14cm ヒタキ科



鳥類

冬鳥として福岡市各地の農耕地や山などへやってきます。ヤブの茂みからほとんど出てきません。頭の形が特徴的です。昆虫や植物の種を食べます。

ミヤマホオジロ

大きさ:約16cm ホオジロ科



両生類

大型で、ふんぞり返りいばっているような姿勢をとることからトノサマガエルと呼ばれ、主に昆虫やクモ類を食べます。水田が減ってきたため、最近は数が少なくなっています。

トノサマガエル

大きさ:約4~9cm アカガエル科



爬虫類

カエルやトカゲ、ネズミなどさまざまな動物を食べ、日のあたる場所で日光浴をしている姿をよくみかけます。気が荒く、かみつくこともありますが、毒はありません。

シマヘビ

大きさ:約80~150cm ナミヘビ科



哺乳類

雑食性で草の根や昆虫などを食べます。行動範囲が広く住宅地でも時々みられます。死んだふりをする動物として知られ、そのような姿はタヌキ寝入りと呼ばれます。

タヌキ

大きさ:約45cm イヌ科



昆虫

主に蚊を食べることから、カトリヤンマと呼ばれています。里山の水田でよくみられますが、そのような場所が減ってきたため、現在は数が少なくなっています。

カトリヤンマ

大きさ:約5.5cm ヤンマ科



昆虫

南国でみられるチョウで、以前は福岡県が北限で福岡市では珍しいチョウでしたが、温暖化の影響により、現在はよくみられるチョウになりました。

クロセセリ

大きさ:約2cm セセリチョウ科



昆虫

チョウには珍しく幼虫が肉食性で、タケ類につくアブラムシを食べます。成虫もタケから離れず、アブラムシの分泌する甘い蜜を吸います。

ゴイシジミ

大きさ:約1.3cm シジミチョウ科



昆虫

夜間にクヌギやコナラの樹液に集まります。福岡市では広くみられますが、特に能古島でよくみられます。成虫で1~2年生きる個体もいます。

ヒラタクワガタ

大きさ:約2.5~7.3cm クワガタムシ科



植物

よく日のあたる場所に生える針葉樹で、福岡市では油山のアカマツ林が有名です。以前は福岡県内で広くみられましたが、現在は少なくなっています。

アカマツ

大きさ:約30~40m マツ科



植物

光合成を行わずに、菌類から栄養をもらい生育します。また、ゴキブリが種を運ぶという変わった植物です。ユウレイダケとも呼ばれています。

ギンリョウソウ

大きさ:約15cm ツツジ科